

田原市立東部中学校

## 第3学年 学年懇談会資料

◆学習について

◆生活について

◆進路について

◆修学旅行について

◆学年会計について

# 学習について

## 〈学習重点目標〉

**1 授業を大切にしよう。**

**2 課題にいていねいに取り組み、期限を守って提出しよう。**

**3 基礎学力を高め、表現力・応用力を身につけよう。**

## 1 授業・家庭学習

学習の基本は授業です。力をつけるために、以下のことを実践しましょう。

### (1) 準備・予習

- ① 忘れ物のないように教科書等を準備する（はばたきを活用する）。  
教科書等の貸し借りはしない。
- ② 予習として、前もって教科書の内容を確認しておく。また、授業までに疑問点などを明らかにしておくとい。
- ③ 授業での課題や「新研究」などの課題をきちんと行い、期限を守って提出する。

### (2) 授業

- ① 放課の間に授業の準備をし、チャイムが鳴る前に着席をする。
- ② 聞くと、話すときの態度に気をつける。
- ③ 自分の意見をもち、積極的に発言する。  
わからないことは、早めに友達や先生に聞く。
- ④ 友達の意見と自分の意見を比べながら聞く。
- ⑤ その授業で何を学んだか、何がポイントだったかを意識しながら、大切なことをメモするなど、工夫してノートをとる。



### (3) 復習・家庭学習

- ① その日のうちに復習する。
- ② 自分に合った方法で積極的に家庭学習に取り組む。  
例えば…
  - ・声に出して読む、声に出しながら書くなど、五感を使った学習をする。
  - ・集中的に長時間やるものと、毎日少しずつやるものを区別して、効果的に学習する。特に基礎的な内容を確実に理解しておく。根気の勝負！
- ③ 学年＋1時間＝4時間を目標に、学習する習慣を身につけたい。
- ④ テレビを見ながらなどの「ながら勉強」をしない。知識が定着しにくい場合が多いです。

## ⑤ 「新研究」の進め方

1. 自力で解く（最初から答えを写さない）。
2. 丸つけをし、間違えた答えは残したまま、問題をやり直し、もう一度丸つけをする。
3. わからない問題は、解答を読んで理解し、正しい答えを書く。
4. それでもわからない問題は、先生や友達に質問する。

※高校入試の出題範囲は、中学1～3年の全範囲の予定です。

※「新研究」の前半は1・2年の復習です。基本の確かめから、応用問題まで幅広く取り組むことができます。

※1～4に従って進めれば、必ず力がつきます。意味のある家庭学習にしましょう。

※1回目は「新研究ノート」に、2回目は「本誌」にやります。

## 2 朝の読書タイム 8：10～8：20

（～8：05静かに着席。落ち着いて読書を開始する。）

- ・ マンガ、雑誌、携帯小説、スポーツの図説解説書等は禁止とする。
- ・ 本は自分で用意する。学級文庫の本でもよい。
- ・ 宿題やはばたきなど読書以外のことはしない。

## 3 評価

- ・ テスト（定期テスト・単元テスト・小テストなど）
- ・ 授業での積極的な発言、活動の様子、発表など
- ・ 提出物



## 4 その他

- ・ 基本的に、教科書・ノートは家に持ち帰る。一部、学校に置いていってよいものについては、教科担任から指示があるので、教室ロッカーに整頓して保管する。
- ・ 学習習慣の定着をはかるため、「新研究」などの提出物が未提出の場合、授業後に補充学習を行うこともあります。

### 番外編 はばたきを書いていますか？～日記をつける利点～

- ・ 漢字の習得…人に見てもらうという経験は漢字習得の集中力を高める。
- ・ 作文力がつく…文章をまとめる力がつき、更に脳が活性化する。
- ・ 表現力が磨かれる…気持ちや思い、考えなどを素直に表現できるようになる。
- ・ 寝つきがよくなる、ストレス発散…頭の中を文章化し外へ出すので頭の中が空になる。
- ・ 人生が充実する…楽しいことも時間が経つにつれて忘れてしまう。記録に残すことでいつでも振り返ることができる。
- ・ 自信がつく…自分がやってきたことが可視化され蓄積されると、自尊心が高まり、自信をもつことができる。

…数十年後、何よりもこの充実した三年間が宝物になります。振り返ることで、自分の成長を感じることができるでしょう。